

ほし み 星を見よう！

2024年10月号

No.310

2024年10月12日

しろい しぶん か

白井市文化センター・プラネタリウム

〒270-1422 白井市復1148-8

TEL 047-492-1125 Fax 047-492-8016

e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp

URL: <https://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/>

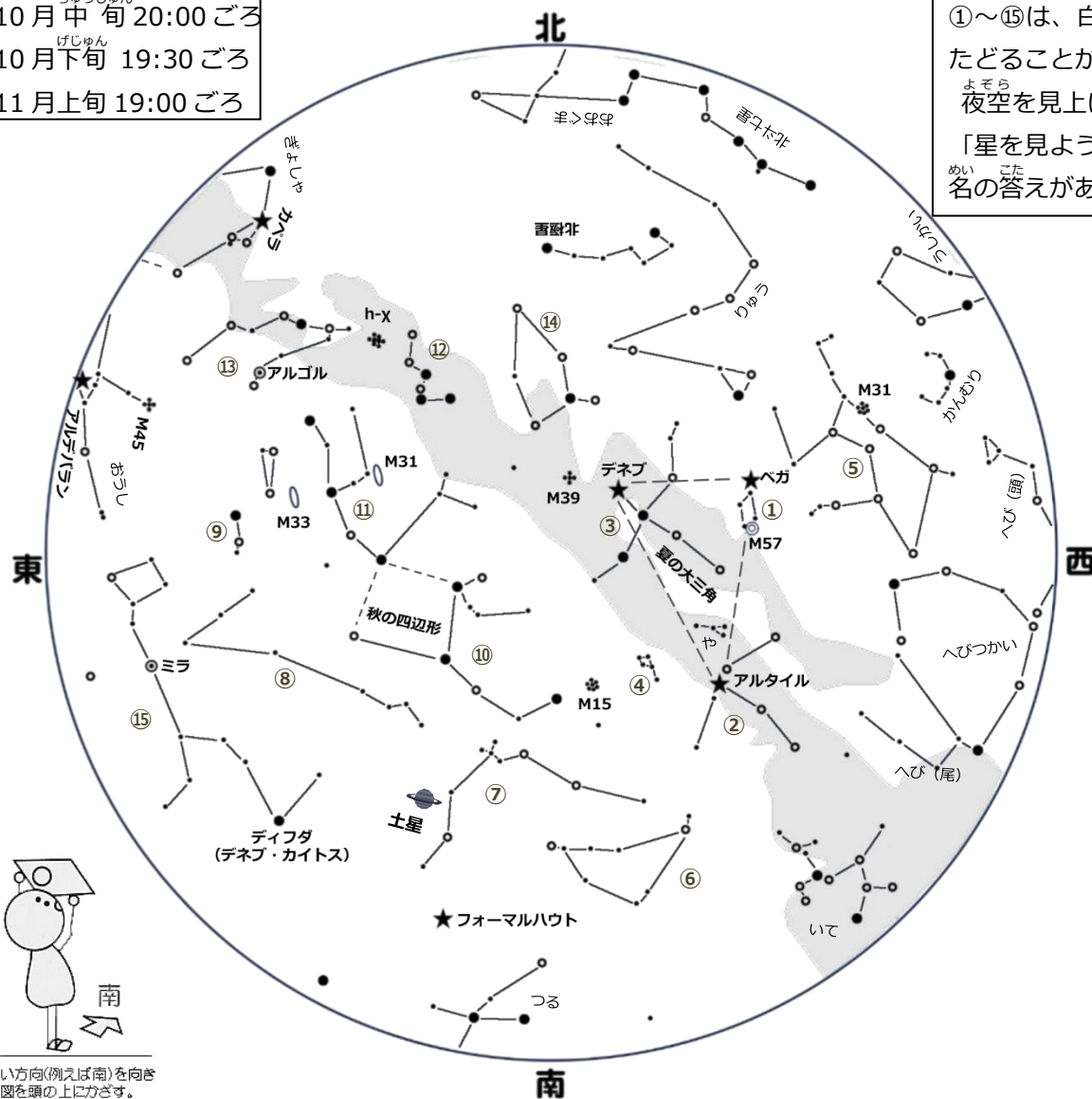
10月上旬 20:30 ごろ
10月中旬 20:00 ごろ
10月下旬 19:30 ごろ
11月上旬 19:00 ごろ

星座の名前わかるかな？

①～⑤は、白井でも星を結んで
たどることができる星座です。
夜空を見上げてみましょう。

「星を見よう！」10月号に星座
名の答えがあります。

プラネタリウムの
ホームページQR



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ・ 4等星以下

- ✳ 球状星団
- ✳ 散開星団
- ◎ 散開星雲
- ◎ 惑星状星雲
- 銀河

肉眼で見える惑星(水星・金星・火星・木星・土星)の10月の位置

水星：太陽に近く見づらい

金星：夕方 西空 低い -3.9等→-4.0等

火星：夜半過ぎ 東空 ふたご座→かに座 0.5等→0.1等

宵に見える惑星は土星 深夜、東に木星

木星：夜半前 東空 おうし座 -2.5等→-2.7等

土星：宵 南空 みずがめ座 0.6等→0.8等

★プラネタリウム放映日 土・日・月曜日以外の祝日 予約不要 放映開始時刻30分前から券売 86席

放映料金：市内大人280円 高校生以下110円 / 市外大人350円 高校生以下160円 それぞれの放映時間 約45分間

☆ロイヤルアワー 11:30 小学校低学年以下の子ども向け

☆アストロアワー 15:00 小学校 中学年から一般向け

「開館30周年『30』づくしクイズ」

「ガリレオ・ガリレイ」

★星を見る会 10月12日(土)/11月9日(土) 18:30(約75分間)

予約不要 大人200円 高校生以下無料 雨天曇天時はドーム内で星見会用星空解説(約45分間)

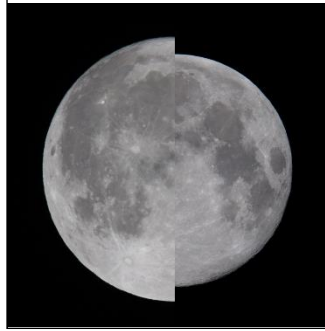
受付:図書館玄関前 18:05~18:25 受付時間を過ぎると入館できません 先着順 50人(対象:小学生以上 未就学児の同伴不可)

☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始 臨時休館 10/19(土)・20(日)

開館30周年記念イベント開催中

昼間の星を見る会
太陽黒点とプロミネンスを見る会
10月12日(土)11:30~13:30

のち つき じゅうさんや きゅうれき つき
後の月 十三夜 旧暦9月13日の月 今年10月15日
満月前の少し欠けた十三夜の月を愛でる習慣は日本独自のもので、
平安時代から始まったようです。

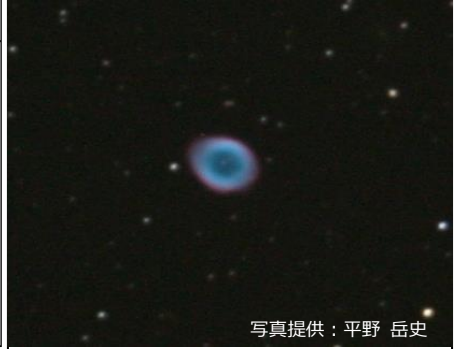


いちばんちきゅう ちか
2024年、一番地球に近い
一番大きい満月 10月17日

月と地球の平均距離は約38万kmですが、
楕円軌道のため、遠い時は約40万km、近い
と約35万kmと約5万kmも差がつかます。
左写真：最大の満月と最小の満月 提供：平野 岳史

ぎんが せいうん せいだん
銀河・星雲・星団

M57 こと座のリング星雲 2600 光年



写真提供：平野 岳史

にくがん そうがんきょう
肉眼or双眼鏡で見えるか！

ツーチンチャン すいせい
柴金山・アトラス彗星

写真提供：三島 和久

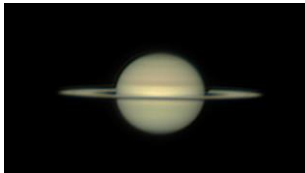
10月半ばごろから夕方西の低空に見え始め、
20日ごろに見やすくなると予想されています。

右写真：9月26日夜明け前、東の低空の柴金山・アトラス彗星



どせい わ しょうしつ
前号からの続き 土星の環の消失
2025年は3回起こる

土星の環は非常に薄いため、土星の環を真横から見る時(下図)、地球
から環がほとんど見えなくなる「環の消失」が起こります。土星は約30
年で太陽を公転しますが、太陽と地球と土星との位置関係で約15年毎
に環の消失が起こります。

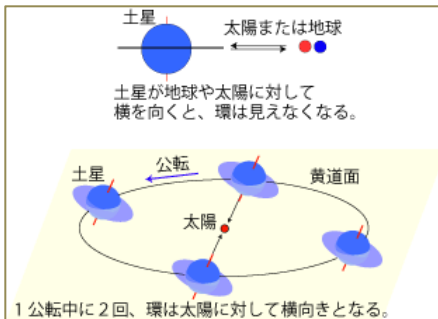


土星写真提供：平野 岳史

地球と土星との距
離は約15億km。
それに対し、
土星の環の厚みは
約数十m。



・ディオネ



上図提供：国立天文台

2024年10月12日19:00の土星の衛星の位置
星図：ステラナビゲーターVer.12/（株）アストロアーツ/（株）アスキー

エイチ カイ にじゅうせいだん
h-x ペルセウス座二重星団

h:7500 光年 x:7170 光年



写真提供：柿沼 史規

M31 アンドロメダ銀河 250 万光年



写真提供：柿沼 史規

M15 ペガスス座球状星団 33600 光年



写真提供：国立天文台

じゅうせいれんせいてんたい
今月の見どころ 重星連星天体

肉眼では1つだが、望遠鏡を使うと2つ以上の星
アルビレオ(はくちょう座) くちばしの星。オレンジ3等と青5等の
星が寄り添うように輝きます。

こと座 ε 星 ダブルダブルスター 双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四
重星。二重星(ε1、ε2)のそれぞれがさらに二重星。ε1は5.0等と
6.1等、ε2は5.1等と5.4等の連星系。

いるか座 γ 星 黄色の4.3等と青色の5.2等の二重星。

アルマク(アンドロメダ座) 黄色の2.2等星と青色の5.0等星の二重
星。連星系。

しろいメール配信サービスに
登録しましょう

下のQRコードで登録してください。
イベントの前にメールが届きます。

◎コンサート情報
◎イベント講座情報
◎文化センターイベント情報



57>⑤ YCIEC7④ YC71③ 4V7C④ 6X017④ YC7④⑤
7C7⑥ 7C⑧ 7C7⑦ 7C⑨ Y7C7⑤ 47⑦ 7C7③ 7C② 7C①